

～寄り合って、寄り添って、みんなで育て、みんなで育つ～



長崎市立三原小学校

「誇りをもち、主体的で、自律できる子どもの育成」

～安全・安心を大切に作る三原っ子～



MIHARA TIMES

令和6年9月18日発行

文責 校長 増崎 祥宣

小体会の練習が始まりました。

10月16日（水）の本番に向けて、小体会の結団式を行いました。いよいよ練習が始まります。

今年は、陸上競技（100m走、50mハードル、走り幅跳び）、球入れ、サッカー（男）（女）に出場します。

結団式では、指導してくれる先生たちとの顔合わせとともにそれぞれの種目のリーダーからはチームの決意、一人一人からは個人の目標の発表がありました。目標は、これからの練習に対する決意があふれていました。一人一人の目標を聞いて、これから1か月間の子どもたちの様子を見るのが楽しみに became.

次の日から種目ごとに練習が始まりました。放課後だけでなく、朝からも自主練習に励んでいる子どもたちです。朝掃除やあいさつ運動などのボランティアも今まで通り行いながら、それぞれの練習に取り組んでいます。あくまで自主練習ですので、先生からの指導があるわけではなく、自分たちで考えて練習を行っています。まだまだ残暑が厳しく、熱中症警戒アラートが発令され、練習ができないこともあります。無理をせず、安全第一で、しかも悔いが残らず、思い出に残る小体会になるようにしていきたいと思ひます。

みなさんからの励ましの声かけ、応援をよろしくお願いいたします。



栄養指導がありました。

9月12日と13日の2日間で給食時間に栄養指導がありました。西浦上小の栄養教諭、宮崎先生に来ていただきました。宮崎先生は、西浦上小、女の都小、三原小、西浦上中を担当されています。今回は、朝食の必要性やバランスのいい朝食について話をいただきました。

朝から食物をとることで血流がよくなり、脳の働きが活発になることや栄養のバランスよく食べることの大切さを教えていただきました。



本にふれる習慣を。

最近、読書量に関するニュースを目にしました。読書離れがどんどん進んでいるというものでした。私自身、学生時代が一番、本を読んでいたと思いますが、今はネットなどの普及により、活字離れが進んでいるようです。読書の習慣は、幼稚園・小学校の時から一番つきやすいと思ひます。秋へ向けて、想像力を掻き立てられる「読み物」へふれる機会を増やすことができるよう言葉かけをしてみたいはかがでしようか。